

2023年度 第3回 CPC研究会

日 時 : 7月14日(金)
会 場 : 連合会館 201 会議室
(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)
参加費 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円
<http://cpc-society.org/>

13:30~14:55

「原子力用黒鉛の中性子照射特性と微細構造解析」

東海カーボン株式会社 瀧澤 健太郎 氏

- 1) 会社紹介
- 2) 原子炉と原子力用黒鉛
- 3) 中性子照射特性
- 4) 中性子照射前後の微細構造解析

東海カーボンは、あらゆる産業に欠かせない素材である、「高品質の炭素、黒鉛製品」をグローバルに製造、供給しています。本講演では、当社事業内容ならびに、その中の特殊黒鉛製品の原子力分野への応用についてご紹介します。また、ORNL での中性子照射実験結果を交えて、炉内構造物としての高寿命化について、黒鉛の微細構造の面から検討した結果についてもご紹介します。

15:05~16:30

「金属溶湯脱成分法を用いたポーラス炭素の開発」

東北大学 金属材料研究所 加藤 秀実 氏

- 1) 金属溶湯脱成分法(Liquid Metal Dealloying: LMD)とは
- 2) LMD を用いて作製した新材料の特徴
- 3) LMD を用いて作製した新材料開発とその応用例
- 4) LMD を用いた炭素材料の作製とその特徴
- 5) まとめ

三次元共連続オープンセル型ナノポーラス金属は、その莫大な比表面積で生じる触媒や電池等の高効率な化学反応性や、連結気孔を介した優れた物質輸送性を有するなど、その高度な機能特性で大きな注目を集めています。本講演では、水溶液を用いた従来の脱成分法では作製が困難であった卑・半金属のナノポーラス化を可能にする金属溶湯脱成分法(LMD)について説明し、これを用いたナノポーラス炭素の作製とそれらの特徴について紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 03-5821-7439
7月14日の第3回研究会に参加します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax: E-mail: